

HONDA CRF250 L/RALLY 機械曲 RS-4Jサイクロン EXPORT SPEC 政府認証

取扱説明書

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

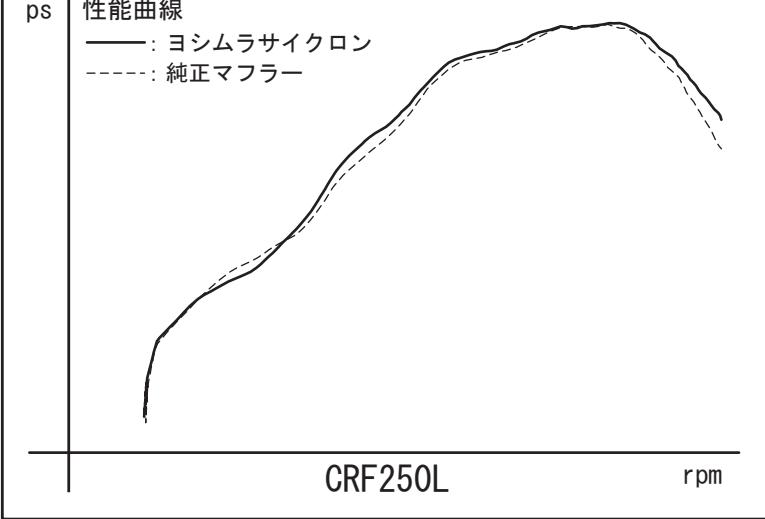
▲危険 怠ると怪我につながる注意事項を示してあります。

△注意 怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。

参考 スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

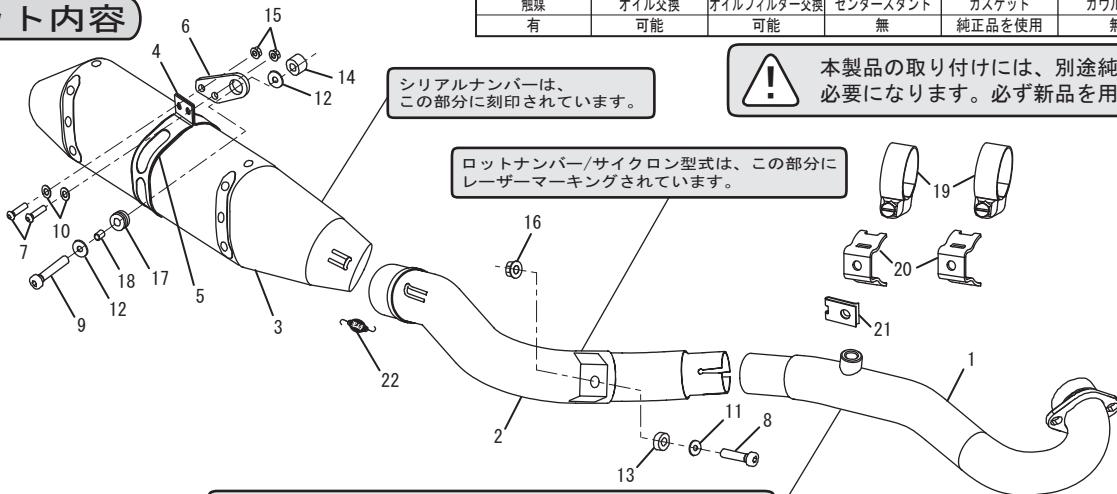
1. 適応車種及び諸元表

車名	HONDA CRF250L / RALLY	
車両型式	8BK-MD47	
エンジン型式	MD47E	
認証番号	JMCA1023001237	
サイクロン型式	H47HSOVC1	
素材	SUS304 / Ti / カーボン	
品番	サテンフィニッシュサイレンサー : 110-47H-5L30 メタルマジックサイレンサー : 110-47H-5L20 チタンブルーサイレンサー : 110-47H-5L80B	
重量	純正マフラー (L / RALLY) : 6.2 kg / 6.1 kg サテンフィニッシュサイレンサー : 4.2 kg メタルマジックサイレンサー : 4.2 kg チタンブルーサイレンサー : 4.0 kg	



2. セット内容

触媒	オイル交換	オイルフィルター交換	センタースタンド	ガスケット	カウル加工	サイレンサーリメイク
有	可能	可能	無	純正品を使用	無	可能



本製品の取り付けには、別途純正ガスケットが必要になります。必ず新品を用意して下さい。

この部分に刻印されているシリアルナンバーは使用できません。
オンライン保証登録の際、このナンバーを入力しないで下さい。

N.O.	品名	数	品番	N.O.	品名	数	品番
1	エキゾーストパイプ	1	111-43H-5L00	12	平ワッシャM8×26	2	812-108-2600
2	テールパイプ	1	115-47H-5L00	13	アルミカラー8-25-10	1	850-008-2510
3	サイレンサー (サテンフィニッシュカバー)	1	139-47H-5L30	14	アルミカラー8-26-18	1	860-008-2618
	サイレンサー (メタルマジックカバー)		139-47H-5L20	15	フランジナットM6	2	823-006-1000
	サイレンサー (チタンブルーカバー)		139-47H-5L80B	16	フランジナットM8	1	823-008-1250
4	サイレンサーバンド	1	162-42R-1500	17	グロメットラバー	1	553-565-0000
5	サイレンサーバンド用スペーサーラバー	1	896-016-0835	18	グロメットカラー	1	850-208-1212
6	サイレンサーステー	1	161-43H-0000	19	ホースバンド 25-40	2	855-209-2540
7	ボタンボルトM6×20	2	803-206-4020	20	ヒートガードステー	2	161-43H-0010
8	キャップボルトM8×25	1	800-208-5025	21	クリップナット	1	820-006-1516
9	キャップボルトM8×45	1	800-208-5045	22	マフラーースプリング (フローティング)	1	118-001-0000
10	キャップボルト用サラバネM6	2	811-106-0000	※	スプリング取付工具	1	100-000-0000
11	平ワッシャM8×20	1	812-108-2000				

3. 取付方法

△注意 ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。
ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。

- SET 内容を確認して下さい。
- メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、各種部品を取り外して下さい(下欄参照)。

	CRF250L	CRF250RALLY
取り外す部品	シート	
	右側サイドカバー	
	エキゾーストパイププロテクター	フロントアンダガード
	—	リアアンダーカウル
	—	右側フューエルタンクシュラウド

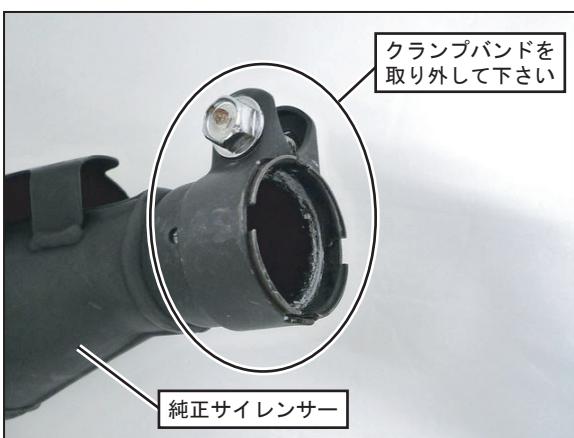


F I G. 1

- メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、O2センサーのカプラーを外してO2センサーを純正エキゾーストパイプから外し、フレーム等を損傷しないように注意しながら純正サイレンサーと純正エキゾーストパイプを車両から取り外して下さい。(F I G. 1 参照)

△注意 純正エキゾーストパイプに取り付けられているO2センサーは衝撃を与えると故障します。取り外しの際は十分に注意し、外したセンサーはウエス等で保護して下さい。

- 純正サイレンサーからクランプバンドを取り外して下さい。
次に、純正エキゾーストパイプからクリップナットを取り外して下さい。取り外したクランプバンドとクリップナットは、本製品の取り付けに使用します。(F I G. 2, 3 参照)



F I G. 2



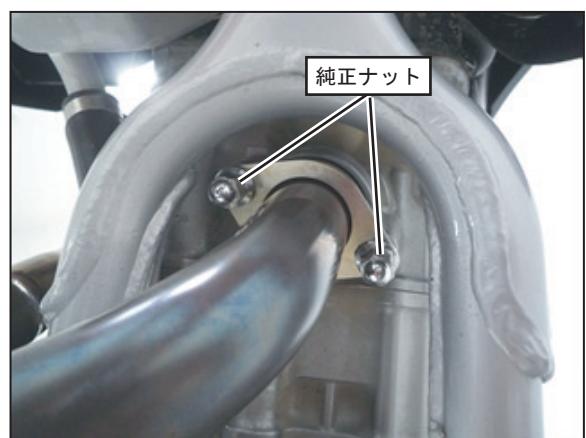
F I G. 3

- エンジン排気ポートのガスケットを新品に交換し、①エキゾーストパイプを排気ポートに取り付け、純正ナットで仮締めして下さい。(F I G. 4, 5 参照)

参考 ※ガスケットは必ずメーカー純正品を使用して下さい。



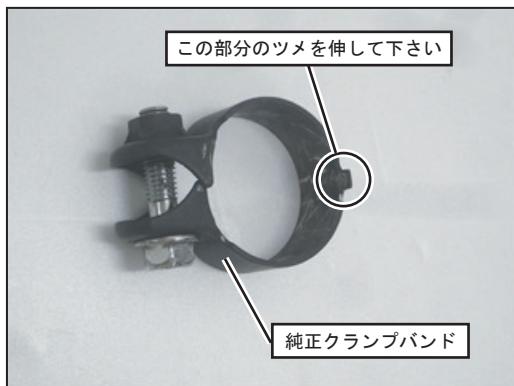
F I G. 4



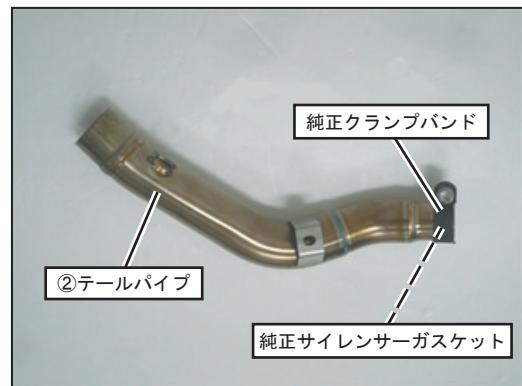
F I G. 5

6. 手順4で取り外した純正クランプバンドのツメを伸ばして下さい。
次に、②テールパイプ前側に純正クランプバンドと新品の純正サイレンサーガスケットを取り付け、
①エキゾーストパイプに仮締めして下さい。 (FIG. 6, 7 参照)

参考 ※ガスケットは必ずメーカー純正品を使用して下さい。
※ガスケットはテールパイプの奥まで挿入せず、端面を揃えた状態に取り付けて下さい。



F I G. 6

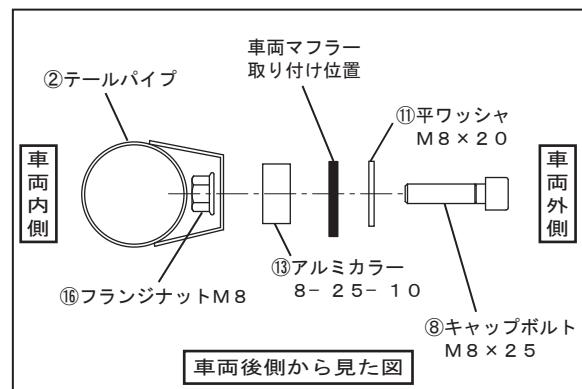


F I G. 7

7. ②テールパイプのステーの穴を車両フレームのマフラー取り付け位置に合せ、⑧キャップボルトM8 × 25、⑪平ワッシャM8 × 20、⑬アルミカラー8-25-10、⑯フランジナットM8を使用して仮締めして下さい。 (FIG. 8, 9 参照)

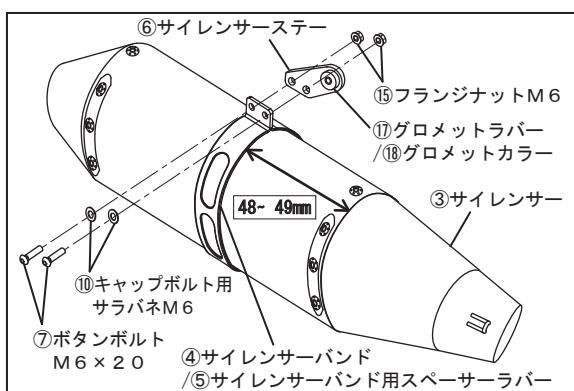


F I G. 8

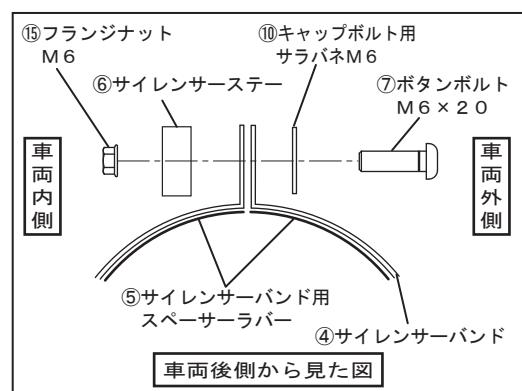


F I G. 9

8. ⑥サイレンサーステーに⑦グロメットトラバーと⑧グロメットカラーを取り付けて下さい。
次に、④サイレンサーバンドに⑤サイレンサーバンド用スペーサーラバーを取り付けてから③サイレンサーに通し、⑩ボタンボルトM6 × 20、⑪キャップボルト用サラバネM6、⑯フランジナットM6を使用して、サイレンサーカバー前端から48~49mmの位置で⑥サイレンサーステーを仮締めして下さい。 (次ページFIG. 10, 11 参照)



F I G. 10

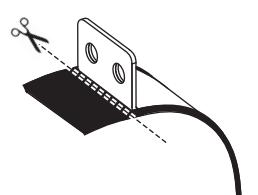


F I G. 11

参考 ※サイレンサーを取り付ける際、バンドに表示してあるヨシムラのロゴが車体外側になるよう取り付けて下さい。

※サイレンサーバンドにバンド用スペーサーラバーを取り付ける際は、バンド両側の合せ目までラバーが届く向きに取り付けて下さい。

取り付け後、バンドの合せ目部分からはみ出したラバーは、はさみ等で切り取って下さい。



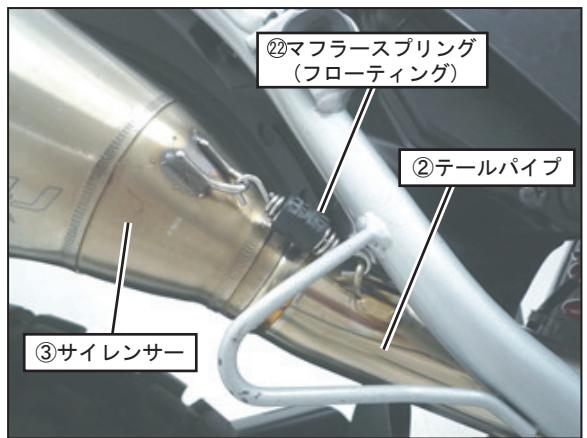
注意 ※サイレンサーに対してバンドを斜めに取り付けすると、バンドが破損する恐れがあります。

※バンドを仮締めする前に、サイレンサーとバンドの間に隙間が無い事を確認して下さい。

隙間がある状態でバンドを締めると、サイレンサーのカバーが変形する恐れがあります。

9. ③サイレンサーを②テールパイプに取り付け、⑪マフラースプリング（フローティング）をスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。（FIG. 12参照）

△危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に充分注意して下さい。（怪我をする恐れがあります）



10. 車両に⑨キャップボルトM8×45、⑫平ワッシャM8×26、⑭アルミカラー8-26-18を使用して⑥サイレンサーステーを仮締めして下さい。

（FIG. 13, 14参照）



FIG. 13

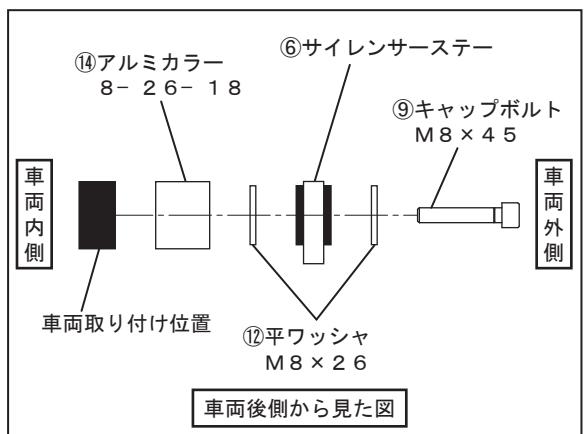


FIG. 14

11. 車両とマフラーとのクリアランスを確認し、仮締めしたボルト・ナットをエキゾーストパイプ→純正クランプバンド→テールパイプ→サイレンサーステー→サイレンサー・バンドの順に規定トルクで締め付けて下さい。

（FIG. 15参照）

△注意	規定トルク	①エキゾーストパイプ	: 15 Nm
		②純正クランプバンド	: 23 Nm
		③テールパイプ	: 23 Nm
		④サイレンサーステー	: 23 Nm
		⑤サイレンサー・バンド	: 10 Nm

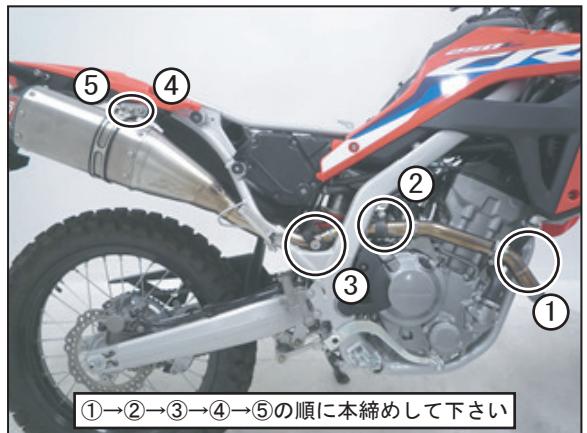


FIG. 15

12. 手順3で取り外したO2センサーを、①エキゾーストパイプのセンサーボスに規定トルクで締め付け、カプラーを元に戻して下さい。戻す際、ケーブルがエンジン部に触れない様に配線して下さい。（FIG. 16参照）

△注意	規定トルク	O2センサー	: 25 Nm
------------	-------	--------	---------

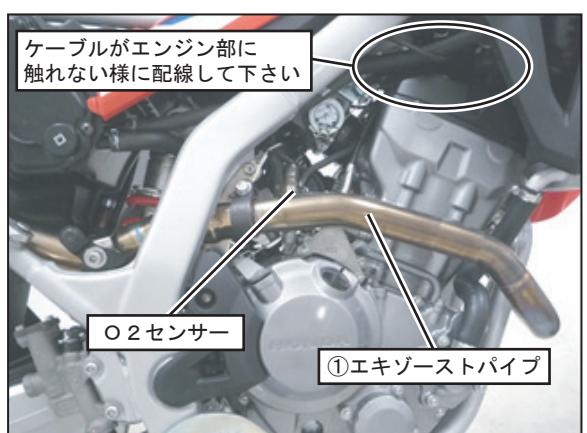


FIG. 16

13. マフラーと車両各部が干渉していない事を確認して下さい。干渉している場合はエキゾーストパイプ、クランプバンド、テールパイプ、サイレンサーバンド、サイレンサーステーを留めるボルト・ナットを緩め、干渉しない位置に再度調整して下さい。（FIG. 17, 18 参照）

△注意 ※エキゾーストパイプの位置調整をする際は、エキゾーストパイプに取り付けられているO2センサーの取り扱いと、O2センサーのケーブルの断線に注意して下さい。O2センサーは衝撃を与えると故障します。



FIG. 17



FIG. 18

14. 【CRF250Lのみ】

⑯ヒートガードステーに手順4で取り外した純正クリップナットと⑰クリップナットを取り付けてから、⑲ホースバンド25-40を取り付けて下さい。

次に、純正エキゾーストパイププロテクターに純正ボルトを使用して⑳ヒートガードステーを仮締めして下さい。（FIG. 19, 20 参照）

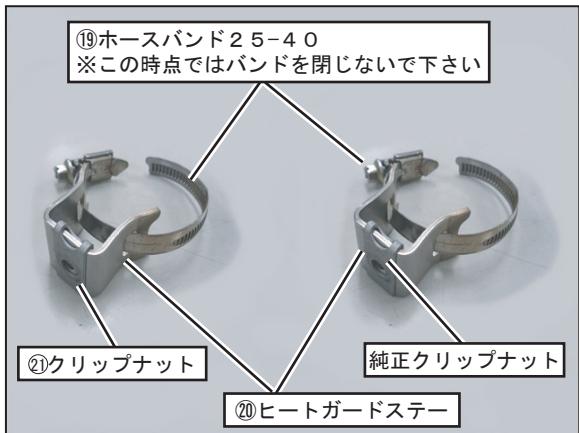


FIG. 19

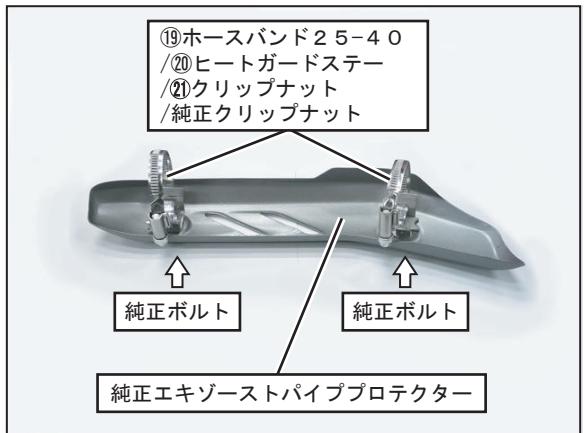


FIG. 20

15. 【CRF250Lのみ】

手順14で組み付けた⑲ホースバンド25-40を①エキゾーストパイプに仮締めして下さい。

次に、純正エキゾーストパイププロテクターが合う位置に調整し、⑲ホースバンド25-40と純正ボルトを規定トルクで締め付けて下さい。（FIG. 21 参照）

△注意 規定トルク 純正ボルト : 12 Nm
ホースバンド : 3 Nm
※ホースバンドを締める際、トルクを掛け過ぎると破損する恐れがあります。

参考 ※ホースバンド、純正エキゾーストパイププロテクターの取り付け時や使用により、金属部品同士が擦れ、エキゾーストパイプに傷がつく可能性があります。ご了承下さい。

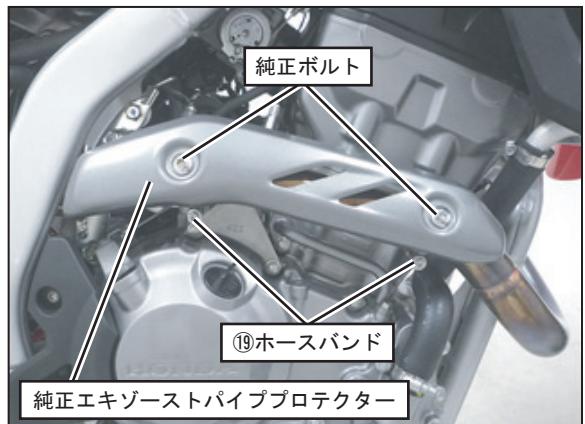


FIG. 21

16. 中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂して下さい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまうことがあります。

△注意 ※カバーやエンブレムにペーツクリーナー等が付着すると、塗装剥がれや色落ちの原因になります。中性洗剤以外での脱脂やクリーニング等は絶対に行わないで下さい。

17. 暖気運転を行なって排気漏れが無いことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行なって下さい。

18. 手順2で取り外した各種部品を元に戻して下さい。

19. 走行中アフターファイアが激しく鳴る場合は、テールパイプとサイレンサーの差し込み部に、市販のマフラー用液体ガスケット等を塗りシーリングを行なって下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。



HONDA CRF250 L 機械曲 RS-4Jサイクロン EXPORT SPEC 政府認証



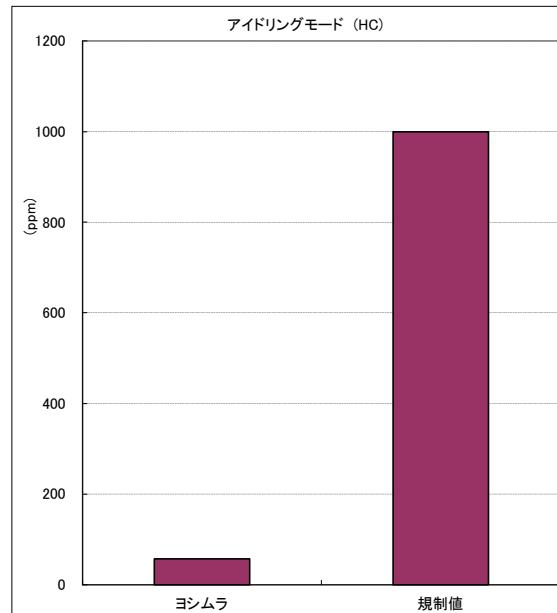
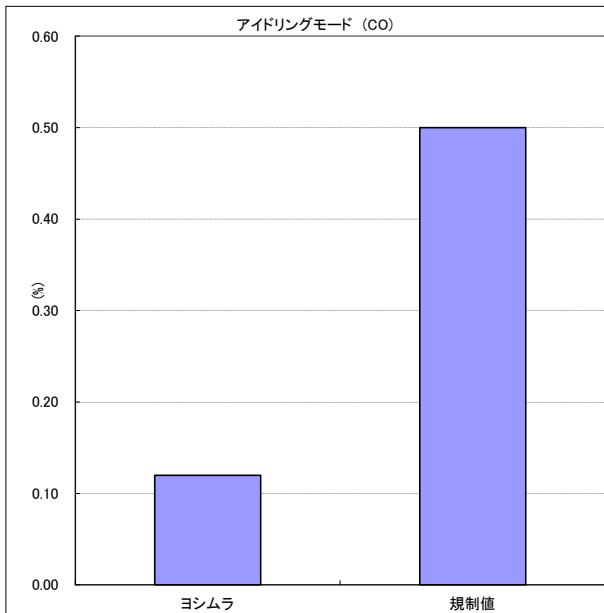
HONDA CRF250 RALLY 機械曲 RS-4Jサイクロン EXPORT SPEC 政府認証

HONDA CRF250 L/RALLY 機械曲 RS-4Jサイクロン EXPORT SPEC 政府認証 排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表 (8BK-MD47)

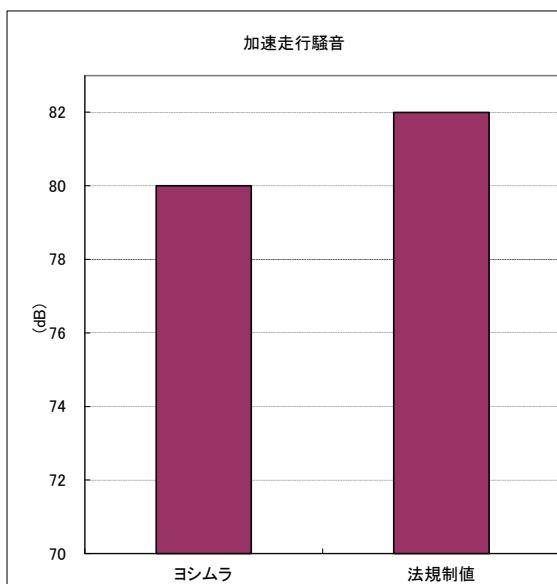
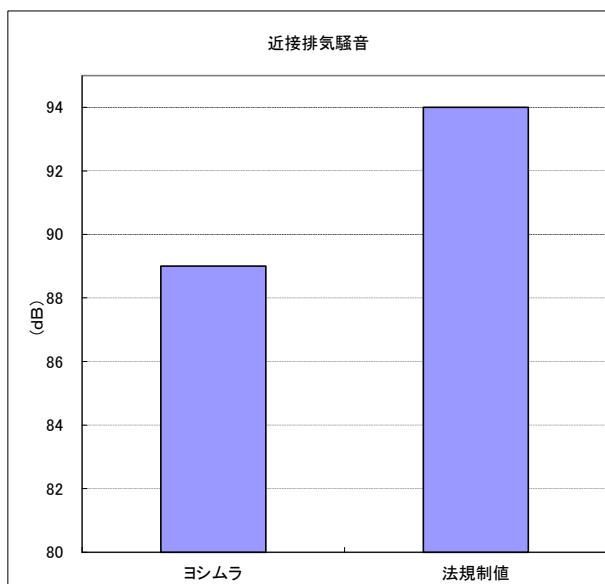
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.12	0.50
炭化水素HC(ppm)	57	1000



○騒音測定結果表 (8BK-MD47)

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	89	94
加速走行騒音(dB)	80	82



⚠ 重要

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、直ちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンのお問い合わせ窓口までご連絡下さい。

⚠ 危険

※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。

※エンジン停止時に空吹かしをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

⚠ 注意

※取付け、取扱いの不注意による返品は、固くお断り致します。

※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

● キャタライズドサイクロンについて

※本製品はマフラー内部に触媒を搭載した”キャタライズドサイクロン”です。環境問題を考え、排出ガスを低減しつつ従来のDSCサイレンサーと同等の性能を発揮する環境型高性能マフラーです。

● ヨシムラサイクロンのメンテナンス

※走行中アフターファイアが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプ・テールパイプ等の差し込み部に、市販のマフラー用液体ガスケット等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。

※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的に増し締めを行い、マフラー各部の点検（変形、キズ、車体との干渉等）を行って下さい。

※エンブレム等の色落ちの原因になりますので、パーツクリーナー又は有機溶剤等の使用はご遠慮下さい。マフラーの脱脂等には、中性洗剤を使用して下さい。

※サイレンサー内部の消音材は消耗品です。消音材が消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消音材が消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、転倒などによる損傷の場合には、(株)ヨシムラジャパンに連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

● 2年保証について

※レーシングサイクロンを除く全ての一般公道用サイクロンは保証対象です。オンライン保証登録をして頂き、購入日を証明するレシート等を保管して頂くことにより、購入日から2年間の保証対象となります。

※登録方法につきましては右記のQRコードから又は下記のアドレスよりオンライン保証登録のご案内ページを参照して下さい。

※使用過程で発生した商品の変色・錆・塗装剥がれにつきましては、保証対象外となりますので予めご了承下さい。特に素材に鉄やアルミを使用した部分は、使用期間や走行距離にかかわらず錆が発生する場合があります。同様に塗装商品も使用期間や走行距離にかかわらず塗装剥がれが発生する場合があります。長く商品をご使用いただく為にメンテナンスが必要となります、ヨシムラジャパンでのリメイク/再塗装サービスもご用意しております。詳しくはヨシムラジャパンホームページをご覧下さい。

※製品については慎重に品質管理を行っておりますが、万一不良・不都合がありましたら保証規定に従い保証対応を致しますので、お買い上げ店又は(株)ヨシムラジャパンまでお知らせ下さい。

オンライン保証登録のご案内 : <http://www.yoshimura-jp.com/products/online-warranty.php>

保証登録のご案内



アフターサービスのご案内



● 「政府認証マフラー」について

※本製品は、騒音規制に適合するため「近接排気騒音」「加速走行騒音」を測定して法規制値をクリアし、公的認証機関の試験に合格した「政府認証マフラー」です。

※詳しくは、ヨシムラジャパン、販売店又はJ M C A事務局までお問い合わせ下さい。

(株)ヨシムラジャパン 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

マフラーリメイクのご案内



・マフラーリメイクのご案内



- ・マフラーに関する技術的なご質問、ご相談
- ・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。

お問い合わせのご案内

